

## 特別支援教室の教員削減は中止し、指導の充実を求める意見書

「特別支援教室」とは、東京都のすべての小中学校にあり、発達障害のある児童や生徒が週決められた時間に通う通級の制度である。児童生徒の一人一人に合った学習を行い、その子に合った学び方を獲得することで、通常のクラスでの生活をスムーズに過ごせるよう支援する教室である。巡回の先生が各学校に出向き、児童生徒は、いつも勉強している教室から、校内にある特別支援教室に移動して勉強する。

これまで、特別支援教室を利用している児童生徒10名につき1名の教員が配置されていたが、2022年度から12名につき1名の教員配置にすることが進められている。都議会・文教委員会で、都内509人もの先生が減ることが明らかになった。現状の教員配置でも、現場の教員から改善を求める声が上がってきた。年度途中で特別支援教室に入室する児童生徒がいても、教員が追加で配置されないため、先生方は苦勞しながら指導に当たっている。保護者からも、先生を減らさないでほしいと声が上がっている。教員が減らされることで困るのは、特別支援教室に通う児童生徒である。多様なニーズのある児童生徒に、一人一人に合わせた指導ができる体制が求められている。

よって町田市議会は、東京都に対して特別支援教室の教員削減は中止し、指導の充実を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。